

事業名 「地図共有サービス」を まちづくり・まち歩き・地域課題共有に生かす

実施団体 上京ちず部

興味・関心・課題の「テーマ」と「地域」を結び付け、
まちの動きや情報を 誰もが等しく得られ、ともに話題に
できるツールとして、地図を活用していきます。ネット上の
地図に情報を書き込んだり、さまざまな地図を集めたり…

1 なぜ、「地図」に注目？

地域への関心は、人それぞれで複合的

ex 歴史、子どもの居場所、商店街、思い出、地蔵盆
未来の夢、防災、友達、銭湯、カフェ、福祉、
買い物、伝統産業、地域振興、まち歩き etc.

しかし…

情報は通り過ぎ、消えてしまう

どうすれば…

情報を一覧できるのは「地図」！

でも…

紙上の地図は動かさない。

書き込めても各自の手元にとどまる。

そこで…

「まち」に関わる分野では、情報を更新できる地図を
共有したい！

京都のベンチャー企業「Stroly」のインターネット
地図共有サービスを活用

<https://stroly.com/>

「上京ちず部」
2017年
3月23日
発足

2 まずは、まち歩きで！

2017/11 上京オープンウィーク

- ①【千ブラ】 ちょっと昭和なまち歩き (京都新聞取材)
- ②上京の西のほうで「レトロ」を探そう！
- ③でまちあるき

2018/3 ④上京区ぶらり旅 (NHK取材)

【千ブラ】で町家の造りや歴史を
学ぶ参加者 (千本笹屋町近く)



上下反転、再利用？看板が錆びてきて、元を書いてあったものと思われる字が白く浮かび上がってきています。「南区東九条南烏丸町」と読めます。南区は1955（昭和30）年に下京区から分かれて発足しているため、元の看板はそれ以降に作られたものですね。（石崎）



「作った」地図を皆で使う

写真、動画、文章を地図に載せ、
ガイド資料として使う

↑ ↓

地図を皆で「作っていく」

参加者が見つけた情報（写真、
文章、位置…）をもとに地図を
作成する

3 これから、進めていきたいこと

(ワークショップを中心に！)

① 「地図をつくる」

2017年度に作成した上京区の白地図「上京オープンマップ」を使い、まちづくりや興味関心の分野、エリア別…さまざまな種類のオリジナル「上京〇〇マップ」(紙の地図、ネット上の共有地図)をつくる。

② 「まちを巡る」

上京区内で、まちに関わって活動したり歩いたりしている人達の視点を生かしてつくった「地図」を使い、それぞれのコースを巡る まち歩きを企画する。

③ 「地図を集める」

上京区内のさまざまな地図を収集する。生活、仕事、観光など用途に応じた多様な地図、古地図、ユニークな観点の地図…

ひとりひとりの発見・発想を
皆で共有し、深める！

★スマホのQRコード撮影で ご覧ください
(表示される赤いピンを開くと情報が！)

【千ブラ】マップ

「でまちあるき」マップ



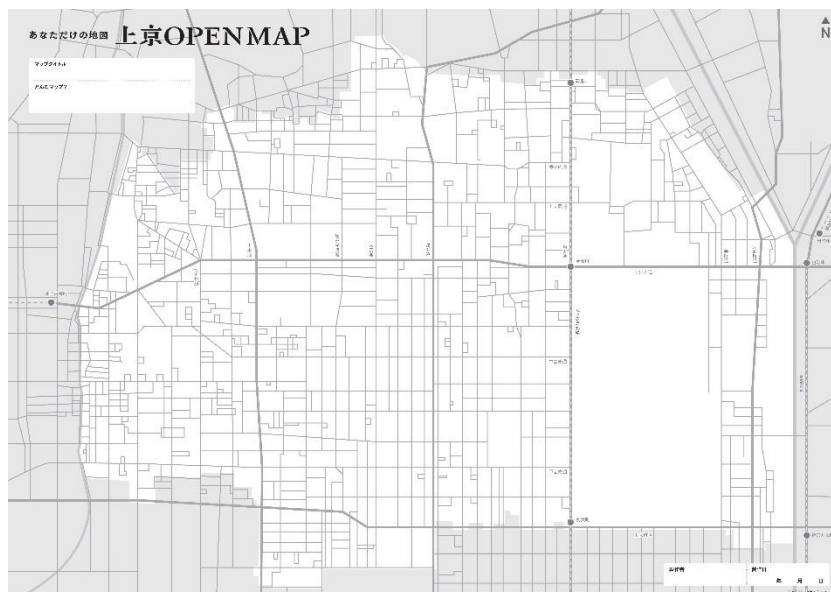
他団体と連携した
オリジナル地図の例…

上京区を中心に昭和50年
以前の街の写真を集める
「be京都 エデュケーション
プロジェクト」のデータをも
とにしたマップ (試作)



白地図
「上京オープンマップ」

私たちとともに 活用
していきましょう！



★ サイトはこちら↑↓

<https://www.facebook.com/kamigyomappers/>

「上京ちず部」
発足時メンバー
石崎 立矢
南 知明
タナカユウヤ